

令和2年度 南アルプス市立若草小学校 学校評価 前期学校関係者評価書

令和2年9月11日（金）
学校関係者評価委員会作成

【第2回学校関係者評価委員会】

- 1 実施日 令和2年9月11日（金）午後7時より
- 2 会場 若草小学校校長室
- 3 参加者 学校関係者評価委員 5名
教職員 4名（校長・教頭・主幹教諭）
- 4 学校側からの提案内容
 - (1) 学校長による説明
 - ①学校経営方針について（若草小学校グランドデザインをもとに）
 - ②令和2年度これまでの様子について（新型コロナウイルス感染症対策に関わって）
○休校（臨時休業）中の対応 ○授業への対応 ○行事への対応
 - ③長期欠席・不登校児童の様子について
 - ④いじめアンケート（学校生活アンケート）の結果について
 - ⑤小中一貫教育の推進とコミュニティースクール（学校運営協議会）制度について
 - (2) 前期学校評価についての説明（教頭）
 - ①学校評価の方法と資料について
○教職員自己評価集計表 ○児童アンケート集計表 ○保護者アンケート集計表
 - ②集計結果をもとにした考察と改善策について
○全体的な評価の概略 ○分類毎による項目の評価と改善策
- 5 学校関係者評価委員による意見（評価・感想・要望）
 - (1) 自己評価全体に関わって
 - 自己評価書の集計がとてもわかりやすくまとめられている。この結果を見て、学校の先生たちが頑張ってくれていることが見てとれる。家庭や地域でも連携して取り組んでいきたい。
 - (2) 学習指導に関わって
 - 新型コロナウイルス対策に関わる休校措置により、授業の未履修や遅れが心配されるところであるが、例年どおりとはいかずとも、内容の精選や工夫により必要最低限度の事項について指導が維持されていることを知り安心した。是非児童たちにもそのことを伝え、安心させてあげてほしい。また、遅れを取り戻すためにも、学習支援スタッフ（学力向上

支援スタッフ)を適所に配置し、有効活用できるようにお願いしたい。

- 新学習指導要領の改訂に伴って、学習内容は1.5倍になったと指摘する方もいる。新型コロナウイルス対策に関わる授業時数の減少もあってたいへんだが、内容の精選や一層の工夫をして取り組んでほしい。
- 新しい学力観として、「知識・理解はいらぬ。スマホで見ればよい。」とさえ指摘する方もいる。これからの時代は、「考える」力が大切になってくる。「考える」力の育成を重視した授業づくりを期待する。

(3) 生徒指導に関わって

- 「相談できる人がいない」と回答する児童のいる点が気になる。中学校の話合いのなかでも同様の傾向がみられたが、是非具体的対策を実践していつてもらいたい。
- 「相談できる人がいない」とする回答に関わって、とくに年度当初のクラス替えや担任が替わる時期に新型コロナウイルス対策の影響により、約2カ月遅れの不安なスタートになったことと思う。その不安を取り除くためにも、より積極的に児童に関わってあげてほしい。
- 「相談できる人がいない」とする回答に関わって、児童の下校後に一日を振り返りながら名簿をチェックしてみると、その日の中で声をかけられなかった子がいることに気づくことがある。一つの方法としてそうした手立てをとることにより、広く万遍なく児童と接する機会をもてるようになるのではないか。

(4) 家庭・地域との連携に関わって

- 「見守り隊」をはじめ、地域が子どもたちを見守るといふことは、とても素晴らしくこの地域の良い点だと感じている。
- 「見守り隊」として、地域の方々が取り組んでくれていて非常にありがたい。

(5) 携帯電話(スマホ)に関わって

- 携帯電話(スマホ)の所有率の高さに驚いた。ITの時代となっているが、SNS等の利用によりリスクが大きくなっているため、学校でも適切な指導を願いたい。
- 携帯電話(スマホ)に関わっては、SNS利用によるいじめ問題等がクローズアップされがちだが、その使用により時間(学習時間等)が奪われているという観点でとらえることも認識しておく必要がある。家庭学習の機会や時間減少の一因ととらえられる。
- 携帯電話(スマホ)について、ルール作りはしているものの、果たしてしっかり守れているのかが心配ではある。